



The bridge to possible

データシート

Cisco Public

# Cisco Network Convergence System 560-7 ルータ

---

# 目次

製品の特長	3
主な用途	4
主な差別化要因	4
システム設計	5
製品仕様	6
発注情報	10
保証情報	12
サービスおよびサポート	12
製品持続可能性	13
Cisco Capital	13
文書の変更履歴	14

Cisco® NCS 560-7 ルータは、フル機能を備えた、モジュラ型のプログラム可能なアグリゲーションプラットフォームです。このルータは、統合モバイル サービス、家庭用サービス、およびビジネス サービスを費用対効果の高い方法で提供できるように設計されています。Cisco NCS 560-7 は、冗長性、省スペース、省電力性、高密度のイーサネット インターフェイス、および高いサービス拡張性を提供し、集約アプリケーションやリモート Point-Of-Presence (POP) 用に最適化されています。

Cisco NCS 560-7 ルータ (図 1) は包括的で拡張性に優れた機能セットを提供し、レイヤ 2 VPN、レイヤ 3 VPN、イーサネット VPN (E-VPN) 、およびマルチキャストサービスをコンパクトなデザインでサポートします。



図 1.  
Cisco NCS 560 ルータ

## 製品の特長

- 奥行き 300 mm 未満の 7 RU 小型フォームファクタ
- 50 ミリ秒 ISSU をサポートする完全冗長プラットフォーム
- 側面から側面へのエアフロー
- セグメントルーティングと EVPN をサポートする 5G 対応
- NCS560 7 RUで4 x 100Gをサポート
- 産業用温度条件をサポート
- 高密度 1G/10G/40G/100G イーサネットポート。25G/50G にも将来対応予定
- 100G/200G CFP2 DCO サポート
- 100G QSFP-DD ZR オプテックスを将来サポート予定
- 低遅延転送、通常 10  $\mu$ s 未満
- 最新の業界標準を使用した周波数と位相/時間の正確な同期
- セキュリティ：トラストアンカー インフラストラクチャ、セキュアブート、イメージ署名、ランタイム防御
- シスコ認定メトロファブリックデザインの一部
- キャリアイーサネット展開に向けて MEF 3.0 認定を取得
- さまざまな SLA に対応する豊富な QoS 機能
- 優れた管理性

## 主な用途

### ブロードバンド アグリゲーション

モジュラ型の Cisco NCS 560-7 ルータは、「Any Play」サービス（音声、ビデオ、データ、モバイル）を提供するためのブロードバンド アグリゲーションをサポートしています。NCS 560 は何千もの加入者をサポートできるように設計されており、デバイスごとに膨大な件数のキューを処理できるよう拡張が可能な Quality of Service (QoS) 機能を備えています。このように多数のキューを処理できることに加え、きめ細かい 3 レベルの階層型 QoS アルゴリズムを使用しているため、ブロードバンドのユーザ エクスペリエンスを大幅に向上させることができます。フル機能を備えたこのレイヤ 2 およびレイヤ 3 ルータでは、Cisco Evolved Programmable Network アーキテクチャを強化および拡張しながら、IPTV やビデオオンデマンド (VoD) などのさまざまなブロードバンド アプリケーションをサポートします。

### モバイルアプリケーションのプリアグリゲーション

モバイルバックホールのためのプリアグリゲーション プラットフォームとして NCS 560-7 ルータを導入した場合、基地局を集約し、セグメントルーティング (SR、SR-TE) またはマルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) を無線アクセスネットワーク (RAN) のバックホールトラフィックのトランスポートとして使用することが可能になります。ASR 900 シリーズ ルータは、Building Integrated Timing Supply (BITS)、10 MHz、1 Pulse Per Second (1PPS)、および Time-Of-Day (TOD) インターフェイスをサポートすることで、現在の統合アクセスネットワークに必要なタイミングサービスも提供します。このルータは、同期イーサネット (SyncE)、IEEE-1588 高精度時間プロトコル、および全地球測位システム (GPS) インターフェイスもサポートします。さらに、NCS 560-7 ルータは、その奥行の浅さと拡張された対応温度範囲により、小スペースや環境条件の厳しい場所にも導入できます。

### メトロイーサネット アグリゲーション

NCS 560-7 ルータは、キャリア イーサネット アグリゲーションに関するサービスプロバイダーの要件に適合するように設計されています。このルータは、フル機能、モジュラ型、省スペースかつ完全な冗長性を備えたアグリゲーション プラットフォームを必要とする、リモートセントラルオフィスや小規模な集約サイトに最適です。このルータは、柔軟なサービスと、高度な L2VPN、L3VPN、EVPN およびマルチキャストサービス向けのレイヤ 2、IP、MPLS およびセグメント ルーティング トランスポートを提供します。

## 主な差別化要因

NCS 560-7 ルータは、家庭用ブロードバンド、モバイル、メトロイーサネットの各アプリケーション向けに拡張性に優れた高度なサービスを提供するサービスプロバイダーを支援します。このルータにより、オペレータは差別化されたコスト効率の高いサービスをエンドユーザに提供できます。

### 柔軟な展開オプション

NCS 560 ルータは、省スペースの導入に対応したコンパクトなフォームファクタで設計されています。幅広い取り付けオプションがあるため、奥行 300 mm の ETSI キャビネットのような、スペースに制約のある場所に配置することも可能です。Cisco NCS 560-7 ルータは、側面から側面へのエアフロー設計であり、2 台を背中合わせにして 600 mm のキャビネット内に配置することができます。同時に、対応温度範囲が広がったため、環境のコントロールがほとんどできない場所にも配置することが可能です。省スペースや幅広い温度範囲に対応できるため、サービスブ

ロバイダーはさらに厳しい環境の遠隔地へとキャリアイーサネットネットワークの範囲を広げることができ、しかも空調にかかるコストを軽減できます。

## 高可用性およびモジュール性

NCS 560-7 ルータはモジュラ型プラットフォームです。シスコでは、冗長ルートスイッチプロセッサ (RSP)、AC/DC 電源装置、高速ファントレイ、および幅広いイーサネット インターフェイス モジュールの選択肢を用意しています。銅線または光ファイバのイーサネット インターフェイスを使用することができ、速度は 100 Mbps から 100 Gbps まで対応します。インターフェイスモジュール、電源装置、ファントレイはすべて現場交換できます。

Cisco NCS 560-7 ルータの設計は、ハードウェアの冗長性をシャーシ内で提供し、シャーシ内にルートスイッチプロセッサが 2 基装備された場合には、In-Service Software Upgrade (ISSU) をサポートすることによってソフトウェア冗長性を提供します。

## 運用の効率化

NCS 560-7 ルータには、サービスプロバイダーがデバイスプログラマビリティとサービスオーケストレーションによりネットワーク管理を簡素化および自動化するために必要な機能が搭載されているため、ネットワークの導入および運用の効率性が向上します。このルータで提供されるプロアクティブな診断ツールとテレメトリツールにより、サービスプロバイダーは問題を発生前に回避でき、あらゆる問題をトラブルシューティングできるとともに、問題が診断されたときに解決策を実行できます。

## システム設計

NCS 560-7 ルータは完全なモジュラ型システムで、将来の拡張に対応できるように設計されています。ルータのシャーシは、オンラインのままでの現場交換や全コンポーネントのアップグレードをサポートします。NCS 560-7 ルータには、ファントレイを 1 基、電源装置を最大 3 台、ルートスイッチプロセッサ (RSP) カードを 2 枚、インターフェイスモジュールカードを最大 16 枚搭載することができます。すべてのコンポーネントは、オンラインのままでの現場交換をサポートします。

## ファントレイ

NCS 560-7 ルータには単一の高速ファントレイスロットがあり、システムを動作させるために取り付ける必要があります。ファントレイは冗長ファンを備えています。そのため、1 つのファンに障害が発生してもシステムは動作し続けます。このシステムは、ファントレイの交換時にも引き続き動作するように設計されています。ファントレイの交換時には、システムの周囲温度に応じてファントレイの再挿入に対して時間制限が課されます。シャーシの冷却機能の他にも、ファントレイにはドライ接点入力端子といくつかのシステムレベルアラーム LED も備えられています。NCS 560-7 ルータのファンモジュールは、現場でメンテナンス可能なオプションのダストフィルタをサポートしています。

## 電源モジュール

NCS 560-7 ルータには AC および DC 電源装置を使用できます。システムモジュールの設定および冗長性の要件に応じて、2 台または 3 台の電源装置が必要になる場合があります。システムは単独の電源装置での運用に対応していますが、2 台の電源装置をロードシェアリング構成で運用したり、3 台の電源装置を 2+1 保護スキームで運用したりすることもできます。運用中の単一のシャーシでの AC 電源装置と DC 電源装置の混在にも対応しています。

## ルート スイッチ プロセッサ

Cisco NCS 560-7 ルートスイッチプロセッサ (RSP4) は、コントロールプレーン、転送 (データ) プレーン、および管理プレーンを担当するシステムの集中型カードであり、ネットワークタイミングも提供します。Cisco NCS 560-7 ルートスイッチプロセッサは現場交換可能ユニット (FRU) です。

## インターフェイス モジュール

Cisco NCS 560-7 ルータは、16 のインターフェイス モジュール スロット (スロット 0 ~ 15) を備えたモジュラ型システムです。これらのスロットは、10Mbps ~ 100Gbps の範囲のインターフェイス速度で、さまざまなイーサネット インターフェイス モジュールをサポートします。

## ソフトウェア

Cisco NCS 560-7 ルータは、モジュラ型オペレーティングシステムである Cisco IOS® XR ソフトウェアで稼働します。このソフトウェアは、モジュラ型のパッケージング、機能の高速化、および強力な耐障害性を実現するように設計されています。サポートされている機能とソフトウェア機能の詳細については、Cisco NCS 560-7 ルータ用 Cisco IOS XR ソフトウェアのデータシートを参照してください。

## ネットワーク管理

Cisco NCS 560-7 ルータは、Cisco Evolved Programmable Network (EPN) アーキテクチャでサポートされています。Cisco Evolved Programmable Network (EPN-M) は、キャリアグレードのネットワークの設計、プロビジョニング、および管理を大幅に簡素化するエンドツーエンドのネットワーク管理ソリューションです。サービスの設計、提供、保証、パフォーマンス分析を一元化して自動化する包括的なソリューションで、サービスプロバイダーや企業が、顧客の高度な期待に応えつつ、コストを削減するのに役立ちます。

Cisco NCS 560-7 ルータは、EPN-M のサポートに加えて、さまざまな組み込みトランスポートコントローラ、SDN コントローラ、およびネットワーク サービス オーケストレーション ソリューションによるデバイスプログラマビリティ機能とサービス オーケストレーション機能もサポートします。

## 製品仕様

表 2 ~ 4 に、Cisco ASR 900 シリーズ ルータの製品、電力、環境の仕様を示します。表 5 と表 6 に、安全性、コンプライアンス、認定に関する情報を示します。

表 1. Cisco NCS 560-7 ルータのシステム仕様

説明	Cisco NCS 560-7 ルータ
物理仕様 <sup>1</sup>	高さ : 310.38 mm (12.22 インチ) : 7RU 幅 : 443 mm (17.44 インチ) 奥行 : 234.2 mm (9.22 インチ) 重量 : <ul style="list-style-type: none"><li>• 2 つの RSP、2 台の DC 電源装置、インターフェイス モジュール カードの一般的な組み合わせを搭載して 31.4 kg (69.32 ポンド)</li><li>• 空のシャーシでは 15.9 kg (34.9 ポンド)</li><li>• 出荷重量は 26.3 kg (58 ポンド)</li></ul>

説明	Cisco NCS 560-7 ルータ
ラックマウント	ETSI ラックマウントキット 19 インチラックマウントキット 23 インチラックマウントキット
電源装置	電源装置スロット X 3
インターフェイス モジュール	インターフェイス モジュール スロット X 16
ルートスイッチプロセッサ	RSP スロット X 2
ファントレイ	ファン冗長化対応のファントレイ X 1 ファントレイ上のドライ接点入力アラーム X 4
エアフロー	側面から側面へのエアフロー（正面から見て、吸気は右側、排気は左側に配置）
電源装置	電源装置（AC または DC）：最大 3 台 モジュールは負荷分散モードで動作 システムは単一の電源装置で動作し、1 つのシャーシで AC 電源と DC 電源の混在に対応します。
動作温度 40°C (104°F) (周囲温度 25°C (77°F)) でのシャーシの MTBF	6,620,000 時間
動作温度 40°C (104°F) (周囲温度 25°C (77°F)) でのファントレイの MTBF	193,000 時間

表 2. 電力仕様

説明	Cisco NCS 560-7 ルータ
消費電力	最大入力電力 1680W（フル搭載、55°C の動作温度、損失を含む）。これは 1 時間あたり 5800 BTU に相当します。 標準入力電力は実際の構成によって異なり、 <a href="https://tools.cisco.com/cpc/">https://tools.cisco.com/cpc/</a> [英語] で Cisco Power Calculator ツールを使用して確認できます。
AC 入力電圧および周波数	電圧範囲：85 ~ 264 VAC、公称 115 ~ 230 VAC 周波数範囲：47 ~ 63 Hz、公称 50 ~ 60 Hz
動作温度 40°C (104°F) (周囲温度 25°C (77°F)) での AC 電源装置の MTBF	1,300,000 時間
DC 入力電圧	1200 W DC 電源装置の電圧範囲：-40.8 ~ -72 V DC、公称 -48 V/-60 V DC
動作温度 40°C (104°F) (周囲温度 25°C (77°F)) での DC 電源装置の MTBF	1,460,000 時間

説明	Cisco NCS 560-7 ルータ
電源装置の出荷梱包サイズ (奥行 X 幅 X 高さ)	39.2 X 24 X 10.9 cm
電源装置の出荷重量	1.6 kg (3.6 ポンド)

表 3. 環境仕様

説明	Cisco NCS 560-7 ルータ
動作環境および高度 <sup>1</sup>	動作温度：-40 ~ 65°C (DC 動作、1200W 電源を使用) 動作温度：-40 ~ 65°C (AC 動作、1200W 電源を使用) 動作高度：-60 ~ 1800 m (全動作温度範囲時) 動作高度：最大 4000 m (最大 40 °C)
外部プラント	外部プラントへの設置では、ルータを空気汚染、ほこり、湿度、昆虫、害虫、腐食性ガス、大気汚染など、外気に存在する反応性の要素から保護する必要があります。このレベルの保護を実現するには、完全に密閉されたエンクロージャにユニットを設置することを推奨します。このようなキャビネットの例には、Telecordia GR487 に準拠した熱交換器を備えた IP65 キャビネットが含まれます。
相対湿度	5 ~ 95 %、結露なし
音響ノイズ <sup>3</sup>	音響ノイズのピーク時運用は Network Equipment Building Standard (NEBS) GR-63-Core Issue 3 の音響出力レベル 78 dB (動作温度 27°C) に準拠 (ANSI S12.10/ISO 7779 NAIS ノイズ測定試験標準に基づき計測)
保管環境	温度：-40 ~ 70 °C、高度：4,570 m (15,000 フィート)
耐震	ゾーン 4
危険有害物質	有害物質規制 (ROHS) 6

<sup>1</sup> サポートされる動作温度範囲は、シャーシ、ファントレイ、RSP エンジン、電源、光、およびインターフェイスモジュールの最小温度範囲によって決まります。最大冷却ファントレイモジュールが使用されていると想定しています。

表 4. 安全規格と適合規格

タイプ	標準
安全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● UL 60950-1 第 2 版</li> <li>● CAN/CSA C22.2 No. 60950-1-07 第 2 版</li> <li>● IEC 60950-1 第 2 版</li> <li>● EN 60950-1 第 2 版</li> <li>● AS/NZS 60950.1:2003</li> </ul>
電磁波	<ul style="list-style-type: none"> <li>● FCC CFR47 Part 15 クラス A</li> </ul>

タイプ	標準
排出規格	<ul style="list-style-type: none"> <li>● EN55022、クラス A</li> <li>● CISPR22、クラス A</li> <li>● ICES-003、クラス A</li> <li>● EN 300 386、クラス A</li> <li>● VCCI、クラス A</li> <li>● KN22、クラス A</li> <li>● EN61000-3-2 ~ EN61000-3-3</li> </ul>
耐性準拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>● EN 300 386</li> <li>● EN 61000-6-1</li> <li>● EN 50082-1</li> <li>● CISPR24</li> <li>● EN 55024</li> <li>● KN 24</li> <li>● EN 50121-4</li> <li>● EN/KN 61000-4-2 ~ EN/KN 61000-4-6</li> <li>● EN/KN 61000-4-8</li> <li>● EN/KN 61000-4-11</li> </ul>
NEBS <sup>1</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● GR-63-CORE Issue 3</li> <li>● GR-1089-CORE Issue 5</li> <li>● SR-3580 NEBS Level 3</li> </ul>
ETSI	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ETS/EN 300 119 Part 4</li> <li>● ETS/EN 300 019 - 保管 : クラス 1.2、輸送 : クラス 2.3、使用/運用 : クラス 3.2</li> <li>● ETS/EN 300 753</li> </ul>
ネットワーク同期	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ANSI T1.101</li> <li>● GR-1244-CORE</li> <li>● GR-253-CORE</li> <li>● ITU-T G.703 clause 5</li> <li>● ITU-T G.703 clause 9</li> <li>● ITU-T G.781</li> <li>● ITU-T G.813</li> <li>● ITU-T G.823</li> <li>● ITU-T G.824</li> <li>● ITU-T G.8261/Y.1361</li> <li>● ITU-T G.8265.1</li> <li>● ITU-T G.8273.2 - Class B</li> <li>● ITU-T G.8275.1</li> <li>● ITU-T G.8275.2</li> <li>● IEEE1588-2008</li> </ul>

<sup>1</sup> 例外 : すべてのケーブルがフロントパネルを経由している場合。

表 5. 認定

説明	Cisco NCS 560-7 ルータ
コモンライテリア	Cisco IOS XR 6.6.1 ソフトウェアを実行している Cisco NCS 560-7 ルータ
MEF	キャリアイーサネット (CE) 1.0 および CE 2.0 MEF 9 および MEF 14 XR 6.6.25 ソフトウェアを搭載したキャリアイーサネット (CE) 3.0
IEEE 1588-2008	1588™ スレーブ (IEEE 適合性評価プログラム) <ul style="list-style-type: none"> <li>通信ネットワークにおける周波数同期のための IEEE 1588™ 適合性テストスイート : パケットスレーブクロック</li> <li>IEEE 標準 1588™-2008 および ITU-T 勧告 G.8265.1 (2010 年 10 月) (修正案 1 (2011 年 4 月) および 2 (2012 年 10 月) を含む)</li> </ul>

## 発注情報

表 6. NCS 560 7 RU ハードウェアの発注情報

製品番号	説明
N560-7-SYS-E	NCS 560 7RU システム ATO、800G、XL スケール、柔軟な消費
N560-7-SYS	NCS 560 7RU システム ATO、800G、LL スケール、柔軟な消費
N560-RSP4-E	NCS 560 ルートスイッチプロセッサ、800G、XL スケール
N560-RSP4-E=	NCS 560 ルートスイッチプロセッサ、800G、XL スケール、スペア
N560-RSP4	NCS 560 ルートスイッチプロセッサ、800G、L スケール
N560-RSP4=	NCS 560 ルートスイッチプロセッサ、800G、L スケール、スペア
N560-FAN-H	NCS 560 高速ファントレイ
N560-FAN-H=	NCS 560 高速ファントレイ、スペア
N560-FAN-F	NCS 560 ファントレイフィルタ
N560-FAN-F=	NCS 560 ファントレイフィルタスペア
ASR-907	ASR 907 ルータシャーシ
ASR-907=	ASR 907 ルータシャーシ、スペア
A907-RCKMNT-ETSI=	Cisco ASR 907 用 ETSI ラックマウントオプション、スペア
A907-RCKMNT-19IN=	Cisco ASR 907 用 EIA 19 インチ ラック マウント オプション、スペア
A907-CAB-BRACKET=	ASR 907 ケーブルガイドブラケット、スペア
A900-PWR1200-A	ASR 900 1200W AC 電源装置
A900-PWR1200-A=	ASR 900 1200W AC 電源装置、スペア

製品番号	説明
A900-PWR1200-D	ASR 900 1200W DC 電源装置
A900-PWR1200-D=	ASR 900 1200W DC 電源装置、スペア
N560-PWR1200-D-E	NCS 560 1200W 拡張 DC 電源装置、Dysing Gasp
N560-PWR1200-D-E=	NCS 560 1200W 拡張 DC 電源装置、Dysing Gasp、スペア
A900-PWR-BLANK=	ASR 900 電源装置ブランクカバー、スペア
A9XX-RSPB-BLANK=	ASR 900 ルート スイッチ プロセッサ タイプ B ブランクカバー、スペア
A900-IMA-BLANK=	ASR 900U インターフェイス モジュール タイプ A ブランクカバー、スペア

表 7. NCS 560 ポートフォリオで使用可能なソフトウェアライセンスの発注情報

製品 ID (PID)	説明
ESS-AC-100G-RTU-1	Access Essentials ソフトウェアの使用権、100G 単位
ADV-AC-100G-RTU-1	Access Advantage w/o Essentials SW RTU v1.0、100G 単位
ADN-AC-100G-RTU-1	Access Advantage w / Essentials SW RTU v1.0、100G 単位
ESS-ADN-AC-100G-RT	Access Essentials to Advantage Upgrade RTU、100G 単位
ESS-AC-100G-SIA-3	Access Essentials SIA 100G 3 ~ 5 年
ESS-AC-100G-SIA-5	Access Essentials SIA 100G 5 ~ 10 年
ADV-AC-100G-SIA-3	Access Advantage w/o Essentials SIA 100G 3 ~ 5 年
ADV-AC-100G-SIA-5	Access Advantage w/o Essentials SIA 100G 5 ~ 10 年
ADN-AC-100G-SIA-3	Access Advantage w/ Essentials SIA 100G 3 ~ 5 年
ADN-AC-100G-SIA-5	Access Advantage w/ Essentials SIA 100G 5 ~ 10 年
ESS-ADN-AC100G-S3	Access Essentials to Advantage Upgrade SIA 100G 3 ~ 5 年
ESS-ADN-AC100G-S5	Access Essentials to Advantage Upgrade SIA 100G 5 ~ 10 年
N560-FC-SW	NCS 560 シリーズの追加ソフトウェアライセンス (RTU、SIA)

## 保証情報

保証については、Cisco.com の [製品保証](#) のページを参照してください。

## サービスおよびサポート

シスコは、お客様の成功を促進する幅広いサービスプログラムを用意しています。これらの画期的なサービスプログラムは、人材、プロセス、ツール、パートナーを独自に組み合わせて提供するものであり、お客様からも高い評価を受けています。シスコのサービスは、お客様のネットワーク投資を保護してネットワーク運用を最適化するだけでなく、ネットワーク インテリジェンスの強化や事業拡張に向けた新しいアプリケーションの導入準備という面でもサポートします。シスコ サービスの詳細については、シスコ テクニカル サポート サービスまたはシスコ アドバンスドサービスを参照してください。

シスコは、お客様の総所有コストを抑えることができるように、努力を続けています。シスコは、さまざまなテクニカルサポートサービスのポートフォリオを通じて、シスコ製品を効果的に運用し、高い可用性を維持し、また最新のシステムソフトウェアを活用できるように支援を提供しています。表 7 に記載されているサービスおよびサポートプログラムは、シスコ キャリア イーサネット スイッチング サービスおよびサポートソリューションの一部として利用できます。これらのプログラムはシスコから直接、またはリセラーを通じて提供されています。

表 8. サービスおよびサポート

アドバンスドサービス	特長	利点
<b>Cisco Total Implementation Solutions (TIS) (シスコより直接提供)</b> <b>Cisco Packaged TIS (リセラーを通じて提供)</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>プロジェクト管理</li><li>サイト調査、設定、および導入作業</li><li>インストール、テキスト化、カットオーバー</li><li>トレーニング</li><li>大規模な移行、追加、および変更</li><li>設計レビューおよび製品のステージング</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>人的資源の補充</li><li>ニーズに合った機能性の確保</li><li>リスクの軽減</li></ul>
<b>Cisco SP Base Support および Service Provider-Based Onsite Support (シスコより直接提供)</b> <b>Cisco Packaged Service Provider-Based Support (リセラーを通じて提供)</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>ソフトウェアアップデートに 24 時間アクセス可能</li><li>テクニカルリポジトリに Web アクセス可能</li><li>Cisco Technical Assistance Center (TAC) による電話サポート</li><li>ハードウェア部品のアドバンスリプレースメント</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>問題の予防または迅速な解決を促進</li><li>シスコの専門知識とノウハウを駆使し、総所有コスト削減を実現</li><li>ネットワークのダウンタイムを低減</li></ul>

## 製品持続可能性

シスコの環境、社会、ガバナンス (ESG) イニシアチブおよびパフォーマンスに関する情報は、シスコの CSR および持続可能性 [レポート](#) で提供されます。

表 9. 製品持続可能性

持続可能性に関するトピック		参照先
一般	製品の素材に関する法律および規制に関する情報	<a href="#">材料</a>
	製品、バッテリー、パッケージを含む電子廃棄物法規制に関する情報	<a href="#">WEEE 適合性</a>
	製品の回収および再利用プログラムに関する情報	<a href="#">Cisco Takeback &amp; Reuse Program</a>
	持続可能性に関するお問い合わせ	連絡先: <a href="mailto:csr_inquiries@cisco.com">csr_inquiries@cisco.com</a>
材料	製品パッケージの重量と材料	連絡先: <a href="mailto:environment@cisco.com">environment@cisco.com</a>

## Cisco Capital

### 目的達成に役立つ柔軟な支払いソリューション

Cisco Capital により、目標を達成するための適切なテクノロジーを簡単に取得し、ビジネス変革を実現し、競争力を維持できます。総所有コスト (TCO) の削減、資金の節約、成長の促進に役立ちます。100 カ国あまりの国々では、ハードウェア、ソフトウェア、サービス、および他社製製品を購入するのに、シスコの柔軟な支払いソリューションを利用して、簡単かつ計画的に支払うことができます。 [詳細はこちらをご覧ください。](#)

## 文書の変更履歴

新規トピックまたは改訂されたトピック	説明箇所	日付
表 7 を更新。NCS 560 ポートフォリオで使用可能なソフトウェアライセンスの発注情報		2021 年 7 月 14 日

©2021 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)  
この資料の記載内容は2021年11月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー  
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先